

川崎市防災シンポジウム



1月23日(月)14時開演

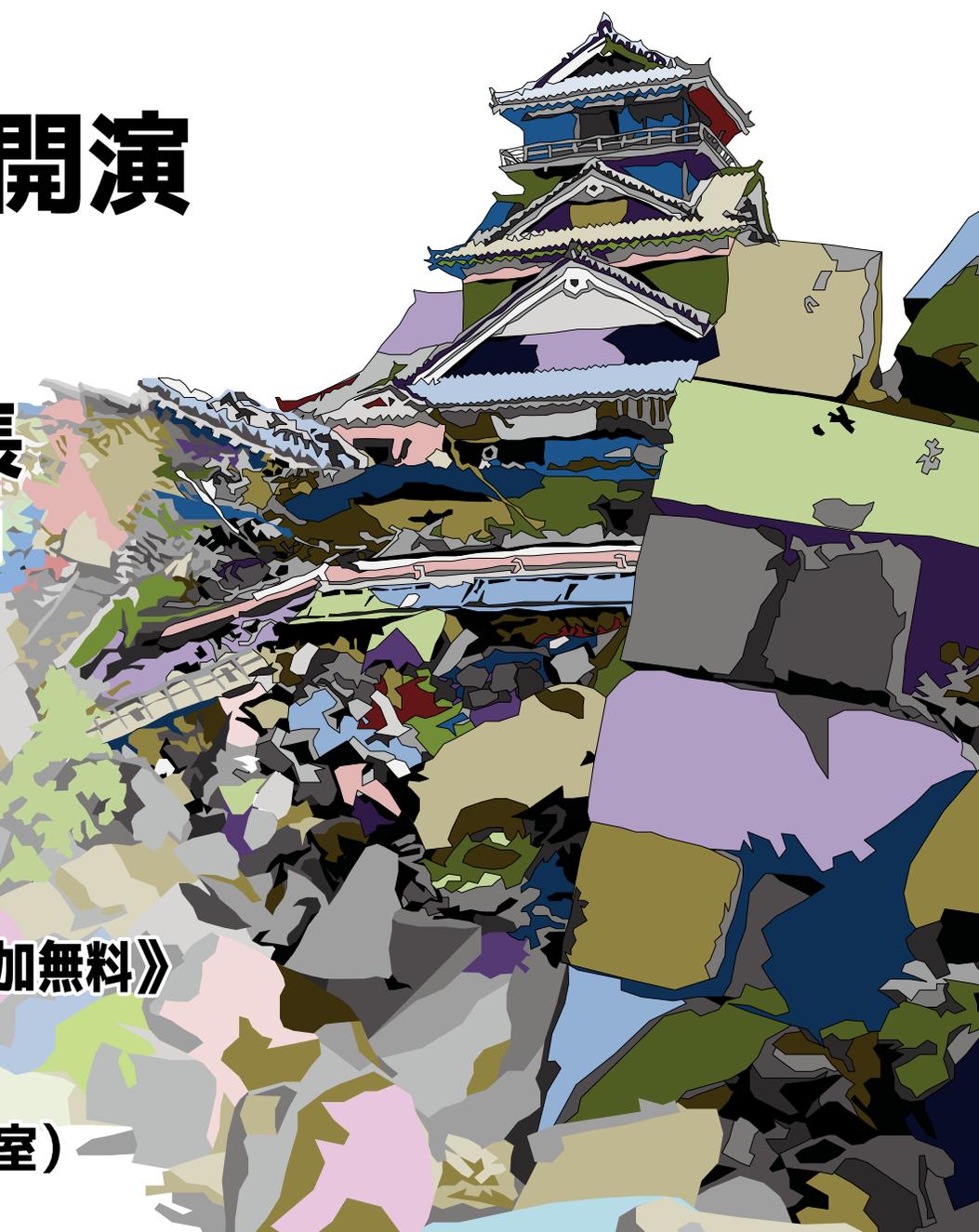
※ 終了予定時間 16時15分

特別講演 大西 一史 熊本市長
「熊本地震災害から学ぶもの」

事例発表 扇町町内会 (川崎区)
下作延第1町内会 (高津区)
新百合ヶ丘自治会 (麻生区)

会場 エポックなかはら大ホール 《参加無料》

主催 川崎市自主防災組織連絡協議会 / 川崎市
お問い合わせ 044-200-2893 (川崎市危機管理室)



平成28年度 川崎市防災シンポジウム 開催概要

イベントに関するお問い合わせは下記まで
総務企画局危機管理室（啓発・予防担当）
電話 044 (200) 2893 担当：早川・田邊

シンポジウムの目的

災害による被害を少しでも軽減するためには、日頃からの市民一人ひとりの心がけと、地域ぐるみの防災対策が重要です。

今回のシンポジウムでは、昨年4月に発生した熊本地震による経験や、現在市内で行われている防災活動の一端を知ること、川崎市内の地域の防災活動のさらなる充実を目指します。

開催日時 / 会場

日時 平成29年1月23日（月）
14時～16時15分

会場 エポックなかはら大ホール
中原区上小田中6-22-5

- ※ 会場はJR武蔵中原駅直通です。
- ※ 車でのお越しはご遠慮ください。



プログラム内容

- 開会挨拶（午後2時）
- 特別講演「熊本地震災害から学ぶもの」※
熊本地震により甚大な被害を受け、今なお復興の途中にある熊本市から大西市長をお招きし、発災当時のご経験を踏まえ、改めて自助・共助の重要性についてお話しいただきます。
※事情により講演者が変更になる可能性があります。
- 事例発表（午後3時頃からは）
市内で行われている様々な防災活動のうち、先進的な取組や、地域ならではの取組など、特徴的な取組の紹介を通じ、来場者の方への日ごろの防災活動のヒントとしていただくものです。
- 閉会（午後4時15分）※内容により前後する可能性あり

講演者プロフィール

大西 一史 熊本市長

- 1967年12月9日熊本市生まれ
- 1992年3月 日本大学文理学部心理学科を卒業後、日商岩井メカトロニクス（株）、内閣官房副長官秘書、熊本県議会議員（5期）などを経て、2014年12月熊本市長に就任、現在に至る。
- 熊本地震に際しては、市長自らツイッターを駆使し、市民への積極的な呼びかけや情報収集を行うなど、陣頭指揮を執られた。



事例発表団体紹介

扇町町内会 川崎区

- 広大な扇町（1.8km²）に所在する、すべての企業と地域とが参加する防災訓練の様子や、川崎臨海部ならではの企業と地域との関係についてのご紹介をします。

下作延第1町内会 高津区

- 120名もの委員が参加する避難所運営会議の取組や、子ども会活動などと連携した取組など、多くの関係者・世代が関わる防災活動のご紹介をします。

新百合ヶ丘自治会 麻生区

- 災害対応に特化した組織づくりや、防災の知識や興味に応じた階層別の役割分担や訓練など、地域自らが創意工夫を凝らした取組のご紹介をします。



【日野 宗門】《コーディネーター》

川崎市防災企画専門員として、本市の防災活動全般にご助言いただいている。専門分野は防災図上訓練、自治体の危機管理、地域防災計画、自主防災組織など。京都大学工学部卒業、京都大学大学院工学研究科博士課程修了。気象予報士。